

ひだかしんきん 地区内経済概況



***** 目 次 *****

業種別総括 令和 7年2月

概 況	1
漁業・水産加工業	2
農業・軽種馬生産業	3
建設業	3
木材・製材業	4
卸・小売業・観光	4
倒産・雇用状況	5
その他	5
トピック	6
インフォメーション	7

《業種別総括》

概況

令和7年2月

〔漁業〕

- 2月の漁獲量は、前年を124トﾝ上回り、漁獲金額は前年を5億400万円上回った。漁獲量では、底曳網、タコ、ツブ、カニ漁が増加し、カレイ、タラ・スケソウ漁、昆布が減少している。漁獲金額では、底曳網、タコ、ツブ、ウニ、カニ漁、昆布が増加し、カレイ、タラ・スケソウ、メヌケ漁が減少している。オオズワイガニの水揚げは好調を維持し、金額は前年比1億4千万円増加。コンブは昨年の不漁が影響し、価格が高騰し、前年比2億2千万円の増加となっている。

※エビ籠漁(えりも地区が主体)は、ほとんどがオオズワイガニの漁獲となっている。

〔農業・軽種馬生産業〕

- 日高管内で生産されるピーマン、トマト、夏イチゴ、ミニトマトのブランド作物の販売高が昨年、軒並み前年実績を超えた。全国的な不作の中、収量が確保でき、高単価につながった。
- ホッカイドウ競馬の令和7年度開催日程と開催概要が北海道軽種馬振興公社から発表された。4月16日から11月13日までの16開催85日間で、開催日数は昨年より1日増となっている。

〔建設〕

- 町発注工事(新ひだか〜広尾地区)2月の発注額は5,600万円で、前年を1億300万円下回った。
- 日高管内における国・道・町発注公共工事の2月中請負金額(北海道建設業信用保証株の保証請負金額)は2億5,300万円で前年を4億9,200万円下回った。
- 2月の建築確認申請件数(新ひだか〜広尾地区)は、3件で、前年を1件上回った。

〔小売業・飲食業〕

- 日高信用金庫の「新商品サポート事業」で、様似町の「まんまの会」(前田寿子代表)が「夏いちごのグラノーラ」を新たに開発した。3月1日〜4日まで浦河優駿ビレッジアエル売店で開催される「ひだかしんきん夏いちごフェア」でお披露目される。

〔観光・その他〕

- 広尾町の「広尾サンタランド」の聖地・大丸山森林公園内のイルミネーションが、バレンタインデーの14日から再点灯した。ホワイトデーの3月14日までの間、「甘いムードの夜」を演出する。漆黒の夜空に15万球のイルミネーションと、1万個の木製ランタンの光が映える格好のロケーションは1カ月限定で復活。毎日午後4時から同10時まで点灯されている。

〔雇用〕

- 2の浦河地区と全道の月間有効求人倍率は、浦河地区は前年を上回り、全道は前年を下回った。

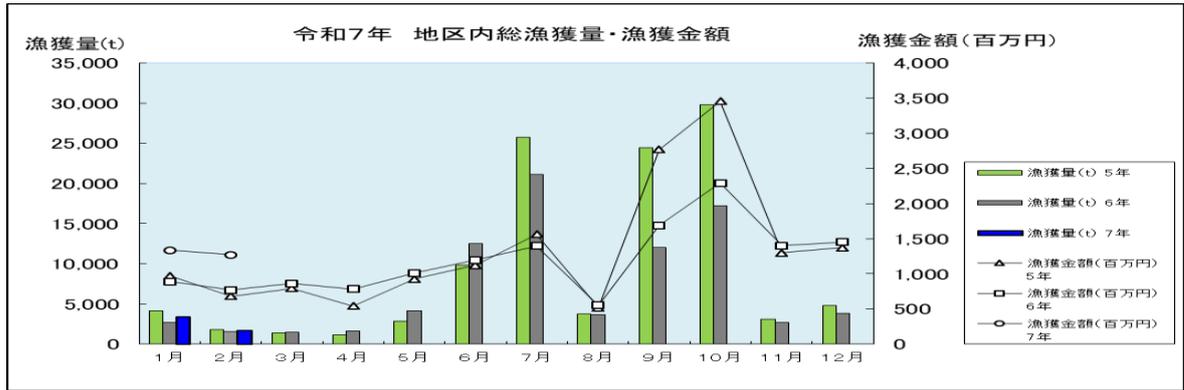
〔総括〕

- 建設業の月中請負金額(北海道建設業信用保証株の保証金額)は、前年を4億9,200万円下回り、町発注工事は前年を1億3百万円下回った。漁業の漁獲量は、前年を124トﾝ上回る1,692トﾝ、漁獲金額は、前年を5億400万円上回る12億7,200万円となった。底曳網、タコ、ツブ、カニ漁は漁獲額、金額ともに前年比大幅な増加となっている。昆布は、価格高騰で前年比2億2千万円増加している。一般企業では、依然、燃料費、物価の高騰などでさまざまな影響が出ており、利幅の縮小等厳しい業況が続いている。水産加工業では、秋サケ漁の不振の影響により、ふるさと納税の返礼品が不足するなどの影響が続いている。個人消費は、特に食料品の値上げ、ガソリン、灯油の値段が高止まりしており、特に冬場の暖房費の影響が大きく、家計には厳しい冬となっている。また、物価の高騰により消費意欲の低下も見られ、特売日などに買い物する人が多くなっている。

漁業・水産加工業

〔沿岸漁業〕 カレイ、タコ、ツブ漁等。〔沖合い漁業〕 カニ、メヌケ、キンキ、タラ、スケソウ漁等。

令和7年2月の総漁獲量1,692t・総漁獲額12億7,200万円(前年同月比124t増・5億400万円増)。



底曳網漁……………	821 t	・ 206百万円	(前年同期比	141 t 増	・ 89百万円増)
カレイ漁……………	21 t	・ 11百万円	(前年同月比	18 t 減	・ 6百万円減)
タコ漁……………	174 t	・ 110百万円	(前年同月比	87 t 増	・ 31百万円増)
ツブ漁……………	86 t	・ 52百万円	(前年同月比	39 t 増	・ 31百万円増)
ウニ漁……………	4 t	・ 27百万円	(前年同月比	4 t 増	・ 27百万円増)
ホッキ漁……………	26 t	・ 16百万円	(前年同月比	7 t 増	・ 8百万円増)
エビ籠漁(カニ)	241 t	・ 223百万円	(前年同月比	83 t 増	・ 140百万円増)
タラ・スケソウ漁…	99 t	・ 16百万円	(前年同月比	161 t 減	・ 9百万円減)
メヌケ漁……………	9 t	・ 16百万円	(前年同月比	3 t 減	・ 14百万円減)
キンキ漁……………	4 t	・ 9百万円	(前年同月比	増減なし	・ 3百万円増)
昆 布……………	198 t	・ 568百万円	(前月同月比	8 t 減	・ 224百万円増)
その他……………	9 t	・ 18百万円	(前月同月比	47 t 減	・ 20百万円減)

※エビ籠漁は、ほとんどがオオズワイガニの漁獲となっている。

2024年の日高管内の漁獲量、漁獲高とも平成以降で最低となったことが日高振興局のまとめで分かった。23年夏の猛暑が影響し、主力のコンブが記録的な不漁となったことが大きな要因とみられる。一部でウニ漁が再開されるなど、赤潮被害からは回復しつつあるが、温暖化に伴う海水温上昇に対応する養殖や魚種転換などの取り組みが一層必要になりそうだ。同振興局の24年の管内漁業生産状況(速報)によると、漁獲量は前年比7.6%減の2万2,891t、漁獲高は0.5%減の99億3,500万円と、いずれも1989年の平成以降で最低だった。管内各漁協からの報告を基に集計した。コンブの水揚げは同26.0%減の1,625t、漁獲高は同13.3%減の31億1,900万円だった。同振興局水産課によると、23年夏の猛暑による高水温の影響で、翌24年に水揚げ予定だったコンブの根が弱って抜けるなど生育不良が生じたと推測されるという。深刻な不漁が続くサケは同11.6%増の542t、漁獲高は同30.5%増の6億1,200万円。漁獲量はわずかに回復したが、過去5年平均の22.7%にとどまり、低水準が続く。一方、日高沖で大量に取れるオオズワイガニを含む「その他の水産動物」は同2.2倍の1,827tに上り、漁獲高は11億7千万円で全体の1割以上を占めた。21年秋の赤潮で打撃を受けたタコ類は同12.2%増の1,429t、ツブ類は同24.5%増の911tと前年を上回った。同課は「漁獲は上向いているが、赤潮前の水準までには回復していない。ツブ類は灯台ツブが多く、マツブの資源回復までにはまだ時間がかかる」と話している。

(対象は新ひだか、浦河、様似、えりも、広尾の各地区)

農業・軽種馬生産業

〔軽種馬生産業〕

- ホッカイドウ競馬の令和7年度開催日程と開催概要が北海道軽種馬振興公社から発表された。4月16日から11月13日までの16開催85日間。全ての日程がナイターで、道営記念は11月6日に開催される。シーズン序盤の出走頭数確保のため2歳デビュー馬の出走手当てが大幅にアップされる他、賞金も一部増額された。最終開催日が11月11日以降となるのは2018年以来7年ぶり。重賞は4月24日のエトワール賞を皮切りに、2歳11競走、3歳7競走、3歳以上14競走の32競争が実施される。3冠戦は馬事通信賞北斗盃が5月1日、北海優駿は6月12日、王冠賞は7月24日。2年ぶり8頭目の3冠馬誕生なるか注目。交流重賞は4競走。24年から3歳限定になった北海道スプリントカップは8月14日、JBC2歳優駿は唯一、月曜開催の11月3日に行われる。道営スプリントは11月5日、道営記念は11月6日。道営記念が開催最終日以外に行われるのは01年以来24年ぶり。かつては道営記念とともに最終日に行われていた2歳牝馬のブロッサムカップでシーズンを締めくくる。
- 日高管内で生産されるピーマン、トマト、夏イチゴ、ミニトマトのブランド作物の販売高が昨年、軒並みに前年実績を超えた。夏の暑さによる全国的な不作の中、管内では比較的収量が確保でき、高単価につながったとみられる。新冠町農協によると、主要作物「いっかつピーマン」の生産量は前年比8.5%増の2,532トンで、3年ぶりに過去最高を更新、販売額も昨年より約2億円増の14億5,100万円となった。新ひだか町しずない農協の主要作物となるミニトマト「太陽の瞳」の販売額は、前年比6.8%増の8億7,288万円だった。生産量は同0.7%減の1,190.3トンで、平均単価は同51円高い733円。浦河・様似町の夏イチゴ「すずあかね」の生産が盛んな両町では昨年、新品種「すずりっか」の本格栽培を始めた。両品種の合計生産量は前年よりも減ったが、販売額は約1割増えた。昨年の生産量は、すずあかねが75.9トン、すずりっかが59.3トンの計135.2トン。暑さによる全国的な不作や引き合いの多さから、1kg当たりの平均単価は同23.4%増の2,941円で過去最高となり、全体の販売額は同10.6%増の3億9,700万円に達した。

〔花き栽培〕

- 2月の花き出荷実績は、9万本、金額1,127万円(前年11万本、1,204万円)。

建設業

〔公共工事〕

- 日高管内の国・道・町発注公共工事の月中請負金額(北海道建設業信用保証株の保証請負金額)は、2億5,300万円で、前年同月比4億9,200万円減少した。

〔町発注工事・建築確認申請〕 (令和7年2月)

	工 事 件 数				金 額 (百万円)				確認申請件数
	土 木	建 築	その他	計	土 木	建 築	その他	計	
新ひだか町	0	0	0	0	0	0	0	0	2
浦 河 町	2	0	4	6	16	0	40	56	1
様 似 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
えりも町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広 尾 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	0	4	6	16	0	40	56	3

- 2月中町発注工事(新ひだか～広尾地区)は5,600万円となった。(前年同月1億5,900万円)工事発注状況を見ると、前年同月比では、件数は1件下回り、金額は1億300万円下回った。
- 2月中受付の建築確認申請件数(新ひだか～広尾地区)は3件で、前年を1件上回った。

木材・製材業

〔木材〕

- ・チップ材の出荷状況(広尾地区)は、数量が472ト(前年404ト)で前年比16.8%の増加。
出荷金額は1,208万円(同895万円)で前年比35.0%の増加。

〔製材〕

- ・建材(様似地区)の2月受注は前年同月並み。プレカット材は受注なく生産を停止している。

卸・小売業・観光

〔卸売業〕

- ・野菜は、道外産が主体。道内産は、ゴボウ、ニラ、ジャガイモ、長ネギ、玉ネギ等。果物は、本州産のミカン、イヨカン、リンゴ、イチゴ等が出荷されている。野菜の価格高騰が止まらない。キャベツは前年同期比3.2倍に達し、ハクサイ、レタスも1.6倍などと上昇している。

〔小売業・飲食業〕

- ・北海道の食のブランドをけん引できる優れた道産加工食品を、食の専門家が選定する「北のハイグレード食品2025」(道主催)に日高管内から3品が選ばれた。道では、北のハイグレード食品を選定し、道内外に発信することで販路拡大機会の創出とともに、食を通じた地域産業の活性化に取り組んでいる。令和6年度は、道内各地から103品の応募があり、審査の結果、ひだか産品3品を含む18品が選定された。ひだか産品の選定は、今回を含め計19品となった。▽「無塩せきベーコンスライス」(平取町・びらとりハムMOVE)。▽「やぎミルクの生ソフトクリームアイス」(日高町・弘安倉庫)。▽「白櫻(はくおう)」(新ひだか町・銀鱗)。「白櫻」は道内産の真ホッケの干物で、2023年から販売している。ホッケが主食とするエサが、全道的にオキアミからイワシや小さいニシンに変わりつつあり、従来のホッケよりも脂身が多いことが特徴という。血抜きや塩加減などを丹念に仕上げ、日陰干しの後、気温や湿度の影響を受けないよう真空冷凍で売りに出す。同社の堀田毅一社長(46)は「火を入れることで脂の甘さや身のフワフワ加減が際だった仕上がりになる」と太鼓判を押す。同社経営の鮮魚店「高槻商店」(新ひだか町東静内)がオンラインで購入できる。半身で1,800~3,500円程度。堀田社長は「お客さんと『おいしい』をシェアしようと魚と向き合い続け、スタートラインに立てた感じ。新しいことに挑戦し、日本や世界の魚食文化を変えたい」と飛躍を誓う。

〔観光・その他〕

- ・浦河町西舎の観光宿泊施設「うらかわ優駿ビレッジアエル」で暮らす引退重賞馬ダークシャドウ(牡18歳)が、競馬場で10年近く誘導馬を務めた経験を生かし、乗用馬デビューを目指している。アエルでは乗馬体験ができる初めての重賞馬となる見込み。ダークシャドウは社台ファーム(千歳市)生産で、2011年のエプソムカップ(GⅢ)と毎日王冠(GⅡ)で優勝、同年の天皇賞・秋では2着になるなどの実績を挙げた。15年の引退後は、新潟競馬場でパドックからコースまで出走馬を先導する誘導馬として24年10月まで活躍した。同競馬場から誘導馬引退後の生活場所としてアエルに打診があり、同11月下旬にアエルに移った。現在は、アエルの敷地内を回る初心者コースの乗馬体験にダークシャドウを伴って、コースに慣れさせるとともに、スタッフが他の馬との相性などを見極めている段階。優しく落ち着いた性格で、「元誘導馬だけあって人を乗せることに慣れていて、あまり動じることもない」という。今春から初心者コースで乗馬体験できる見通しで、太田マネジャーは「名馬に乗馬できる機会は少ない。アエルを代表する乗用馬として活躍してもらえよう、一緒に頑張りたい」と話している。

倒産・雇用状況

〔管内の倒産〕

- ・ 当金庫管内(新冠町～えりも町)の倒産は、0件(前年同月0件)、負債総額ゼロ、(同ゼロ)。
当金庫管内を含む苫小牧管内の倒産は、0件(前年同月0件)、負債総額ゼロ、(同ゼロ)。

〔道内の倒産〕

- ・ 北海道の倒産件数は22件(前年同月18件)、負債総額は27億6,900万円(同17億3,700万円)、倒産件数は前月比5件増加、前年比4件の増加となった。

〔全国の倒産〕

- ・ 全国の倒産件数は764件(前年同月712件)、負債総額は1,712億7,700万円(同1,395億9,600万円)。
倒産件数は前月比76件減少、前年比で52件の増加となった。(東京商工リサーチ)

〔雇 用〕

- ・ 2月の浦河地区の月間有効求人倍率は1.87倍。前年を0.28ポイント上回り、前月を0.13ポイント上回った。有効求人数は1,021人で前年比48人の減少、前月比56人の増加となった。有効求職者数は545人で前年比126人の減少、前月比で11人の減少となった。全道の月間有効求人倍率は0.96倍で、前年を0.04ポイント下回り、前月を0.01ポイント上回った。

その他

管内生産馬 中央競馬重賞レース優勝馬

2 / 2	第30回 シルクロードステークス (GⅢ) エイシンフェンサー 号	(新ひだか町 木田牧場 殿生産)
2 / 9	第75回 東京新聞杯 (GⅢ) ウォーターリヒト 号	(浦河町 伏木田牧場 殿生産)
2 / 9	第65回 きさらぎ賞 (GⅢ) サトノシャイニング 号	(日高町 下河辺牧場 殿生産)
2 / 22	第69回 阪急杯 (GⅢ) カンチェンジュンガ 号	(日高町 サンバマウンテンファーム 殿生産)

ホッカイドウ競馬発売成績

年 度	開催日数	総売徳金	計画比	前年比	1日平均
2019	15開催80日	33,082,144,890	125.8%	131.6%	413,526,811
2020	15開催82日	52,044,806,060	155.6%	157.3%	634,692,757
2021	15開催82日	52,299,692,470	139.1%	100.5%	637,801,128
2022	15開催85日	52,778,575,710	120.2%	100.9%	620,924,420
2023	15開催82日	51,280,915,000	111.9%	97.2%	625,377,000
2024	15開催84日	54,365,674,750	113.3%	106.0%	647,210,357

(注) 調査区域：浦河地区、新ひだか町静内地区及び三石地区、新冠地区、様似地区、えりも地区、広尾地区

《指 標》

1 営業区域の人口・世帯数動向 (令和7年2月末現在)

(単位:人)

町 村 名	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前月比	世 帯 数	前年同月比	前月比
平 取 町	4,427	-94	-10	2,375	-38	-5
日 高 町	10,839	-250	-39	6,165	-78	-27
新 冠 町	4,997	-138	15	2,795	-17	17
新ひだか町	20,142	-403	-53	11,241	-95	-28
浦 河 町	11,191	-210	-13	6,607	-10	-3
様 似 町	3,777	-90	2	2,027	-48	-3
え り も 町	4,018	-150	-21	1,968	-47	-11
日高地区合計	59,391	-1,335	-119	33,178	-333	-60
広 尾 町	5,863	-121	-15	3,127	-25	2
大 樹 町	5,253	-65	-1	2,811	10	2
日高・十勝地区合計	70,507	-1,521	-135	39,116	-348	-56
札 幌 市	1,953,564	-1,332	-546	1,113,171	9,007	64
江 別 市	117,842	-673	-92	59,727	140	-66
石 狩 市	57,028	-550	-35	28,663	58	-15
北 広 島 市	56,419	-437	-4	28,398	96	32
恵 庭 市	70,336	42	-61	36,116	620	-22
千 歳 市	97,148	-636	-108	52,234	127	-43
石狩地区合計	2,352,337	-3,586	-846	1,318,309	10,048	-50
苫 小 牧 市	165,303	-1,288	-107	91,294	316	-43
厚 真 町	4,221	-61	3	2,098	-3	-2
む か わ 町	7,183	-128	-15	4,016	22	-11
胆振地区合計	176,707	-1,477	-119	97,408	335	-56
営業区域合計	2,599,551	-6,584	-1,100	1,454,833	10,035	-162

(資料出所:各市町村)

2 労働需給状況(令和7年2月)

	浦河職安	全 道	前年同月比		前月比	
月間有効求人数	1,021	77,244	-48	-5,734	56	2,092
月間有効求職者数	545	80,123	-126	-2,618	-11	1,389
月間有効求人倍率	1.87	0.96	0.28	-0.04	0.13	0.01

(資料出所:北海道労働局)

3 企業倒産状況(令和7年2月)

(単位:件、百万円)

	件 数	金 額	前年同月比(件数)	前年同月比(金額)	業 種	地 区
苫小牧管内	0	0	0	0		
うち新冠町~えりも町	0	0	0	0		
北 海 道	22	2,769	4	1,032		
全 国	764	171,277	52	31,681		

(資料出所:東京商工リサーチ)

4 浦河町・新ひだか町 金融機関預金・貸出金残高(令和7年2月末)

(単位：百万円、%)

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
182,244	1.46	-0.44	59,838	-1.78	1.41

(資料出所：浦河・静内金融協会)

5 町発注工事 (令和7年2月)

(単位：百万円)

	2月		累 計		前年同月		前年同月累計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
新ひだか町	0	0	77	2,844	0	0	103	2,651
浦 河 町	6	56	100	1,469	1	17	79	4,200
様 似 町	0	0	34	2,028	0	0	37	486
えりも町	0	0	37	561	0	0	39	560
小 計	6	56	248	6,902	1	17	258	7,897
広 尾 町	0	0	44	1,646	6	142	52	586
総 合 計	6	56	292	8,548	7	159	310	8,483

(資料出所：各町)

6 建築確認申請 (令和7年2月)

	2月	累 計	前年同月	前年累計
	件 数	件 数	件 数	件 数
新ひだか町	2	14	2	18
浦 河 町	1	17	0	11
様 似 町	0	2	0	4
えりも町	0	2	0	4
小 計	3	35	2	37
広 尾 町	0	7	0	10
総 合 計	3	42	2	47

(資料出所：各町)

7 気象情報(札幌管区气象台発表)

令和7年2月中の気象状況

(単位：℃、mm、h)

	本 年			年平均偏差・年平均比			年平均偏差、年平均比は、1991～2020年の資料から算出された年平均値を使用。気温は当月の平均気温から年平均値を差し引いたもの(年平均比)。降水量、日照時間は当月の降水量・日照時間の平均を年平均値で割り返したものの(年平均偏差)。
	気 温	降水量	日照時間	気 温	降水量	日照時間	
浦 河	-0.6	41.0	178.8	1.5	141.9	111.2	
広 尾	-1.8	79.5	179.5	2.1	132.7	110.6	

(資料出所：国土交通省・気象庁)



北海道日高振興局 ナナイロひだか 高校生応援プロジェクト

若者の意見が政策に反映される環境づくりへ

振興局では「若者の意見が政策に反映される環境づくり」を掲げ、高校生が地元を知ることで郷土愛を育み、進学や就職で町を離れてもまた地元に戻り活躍したいと感じてもらえる人材の育成・環流をめざして「ナナイロひだか高校生応援プロジェクト」を実施しています。

〈令和6年度の取組〉

静内高校①（総合的な学習の時間）

振興局職員が「SDGs」をテーマに授業を行い、高校生が「SDGs」の視点を踏まえながら、地域課題の解決に向けた取組を検討しました。



静内農業高校

地域の子どもたちにフードロスの観点からSDGsについて理解を深めてもらうとともに、運営する生徒の社会性や指導性の向上を目指し、規格外ミニトマトを活用したアイデアレシピコンテストを実施しました。



静内高校②（有志による課外活動）

国立公園等の地域資源の活用と地域の活性化を目的とし、札幌圏の大学生と高校生が地域の魅力を体感できる周遊モデルコースを造成しました。



◆ 詳しくは日高振興局HP **ナナイロひだか高校生応援プロジェクト**まとめページをチェック！



◆ 日高振興局の取組はSNSでも発信しています。



令和7年度も日高振興局は引き続き、管内の高校生を応援します！

令和6年度 新入職員 Presents

ボランティアへの取り組みインタビュー（2月）

日高信用金庫では、地域との繋がりを大切にするため、地域貢献活動に積極的に取り組んでいます。今回は、今まで取り組んできたボランティア活動について、令和6年4月入庫の新入職員に行ったインタビューの内容をご紹介します。



みっしー蓬萊山まつり2024。
2024年7月実施。



第20回ルート336
花壇づくり。
2024年6、7、10月実施。

大変だったこと、やりがいを感じたことは？

集合時間が早朝だったり、雨天時のお祭りの手伝いは体力的にとっても大変だったイメージがあります。ボランティア活動を通じて沢山の人と交流したり、コミュニケーションを図ることが楽しかったです。また、ボランティアが終了した後の達成感にとってもやりがいを感じます。



三石支店
いその りさ
磯野 里沙

一番印象に残っている活動は？

花壇整備のボランティアが印象に残っています。春夏秋の季節ごとに、苗植え・整備・清掃を行い、大樹方面から広尾市街地に入る前の坂道を花が枯れるまで彩りました。参加者の人数も多く町民の交流の場としても適したボランティアだと感じました。



広尾支店
ふくい なるひろ
福井 成浩



ひだかしんきん営業のご案内

ATM	本店	〒057-0013	浦河郡浦河町大通 2 丁目 1 番地 2 (仮店舗)	☎ (0146) 22-4111
ATM	堺町支店	〒057-0034	浦河郡浦河町堺町西 1 丁目 83 の 59	☎ (0146) 22-5611
ATM	静内支店	〒056-0016	日高郡新ひだか町静内本町 1 丁目 1 の 15	☎ (0146) 42-1531
ATM	三石支店	〒059-3108	日高郡新ひだか町三石本町 197 の 23	☎ (0146) 33-2311
ATM	様似支店	〒058-0014	様似郡様似町大通 2 丁目 35 の 2	☎ (0146) 36-2341
ATM	えりも支店	〒058-0204	幌泉郡えりも町字本町 170 の 1	☎ (01466) 2-2311
ATM	広尾支店	〒089-2615	広尾郡広尾町本通 8 丁目 7 の 1	☎ (01558) 2-3161
	札幌支店	〒060-0004	札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 1—4 大樹生命札幌共同ビル 4 階	☎ (011) 200-7070

ATM 営業時間 平日 8:45~18:00

※札幌支店を除く各店舗に「ハンドセット搭載機」の ATM が設置されております。

土曜日 ATM 稼働店：本店(仮店舗)・堺町支店・静内支店・三石支店・様似支店・えりも支店・広尾支店

土曜日 ATM 営業時間 9:00~17:00

日曜・祝日 ATM 稼働店：本店(仮店舗)・静内支店

日曜・祝日 ATM 営業時間 9:00~17:00

店外 ATM

浦河町役場内 ATM 浦河郡浦河町築地 浦河役場内 1 階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~16:00

浦河赤十字病院内 ATM 浦河郡浦河町東町 浦河赤十字病院内 1 階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~18:00

パセオ堺町店内 ATM 浦河郡浦河町堺町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

マックスバリュ静内店内 ATM 日高郡新ひだか町静内木場町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9:00~19:00

日高德洲会病院内 ATM 日高郡新ひだか町静内こうせい町

店外 ATM 営業時間 平日 9:00~18:00 土曜 9:00~17:00

※店外 ATM は、全て「ハンドセット搭載機」です。

※ハンドセット付 ATM：プッシュボタン付受話器から、音声ガイダンスにより操作手順をご案内する ATM です。



まごころ ふれ愛
業務印地域員献誅

〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 の 2

電話 (0146) 22-4100 FAX (0146) 22-6106

URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>

